

## ◇ 博物館だより ◇

航空科学博物館  
財団法人 航空科学振興財団

Museum of Aeronautical Sciences

〒289-1608 千葉県山武郡芝山町岩山 111-3

HP:<http://www.aeromuseum.or.jp>

TEL: 0479-78-0557

FAX: 0479-78-0560

## 1. 博物館の概要

航空科学博物館の建設にあたっては、昭和53年10月航空振興財団における調査検討の結果、昭和59年6月に博物館の建設・運営の事業主体となる航空科学振興財団を設立し、わが国唯一の総合的な航空思想普及施設として、航空科学博物館を成田空港南側に隣接して建設することとし、平成元年8月に開館した。

博物館は、地元芝山町、成田国際空港株式会社、航空会社等関係機関の協力を得て、本年17周年、約341万人(2006年9月末現在)の来館者を迎えることができた。

また、博物館は航空に関する科学知識について、国民各層、とくに青少年に対してその啓発を図り、航空思想の普及および航空科学技術の振興に寄与し、あわせてわが国の航空の発展に資することを目的としている。



## (1) 施設関係

- ① 敷地面積 51,530 m<sup>2</sup>
- ② 建築面積 2,206 m<sup>2</sup>
- ③ 延床面積 3,750 m<sup>2</sup>

- (2) 建物 階数 地上2階一部5階
- 構造 鉄筋コンクリート造
- 一部鉄骨造



## 2. 展示関係

展示内容は、主として青少年を対象とするが、ある程度専門家の要請にも応え得るよう整備し、その方法としては、実機、実物、精密模型等により総合的、体系的に、かつ、視聴覚機器を活用して動的に展示する。

実機等大型の展示物は、屋外展示の方法を活用し施設全体として調和のとれたものとなるよう配慮する。また、展示においても、行事においても、来館者が「参加」、「体験」することにより、「やさしく」、「解りやすく」航空への関心を高めることとなるよう工夫する。

航空機34機など展示物を所有しているが、代表的なものについては下記のとおりである。

## (1)国産旅客機 YS-11(JA-8611)



YS-11は、ガスタービンエンジン2台、60人乗りのプロペラ機で、第二次世界大戦後現在までのところ、日本で設計・製造された唯一の旅客機である。同機は、1962年に初めて飛行し、慎重な試験飛行の後、運航が開始され、機体の欠陥によるさしたる事故もなくその設計の優秀さを示しているが、残念ながら40年近い活躍を終え、2006年9月末をもって日本国内のエアラインからは引退した。「YS-11」の製造は、日本の産業全体からみても、歴史に残るマイルストーンと考えられるが、その試作1号機が、開館以来当館の屋外展示場(現在MU-2など18機展示)を飾っており、退役後の勇姿を見ることができる。

## (2)ボーイング 747-400 大型模型



ボーイング747-400の模型(8分の1)は、全長、全幅約10mもある世界最大級であり、その後方に設置したコックピットで操縦することにより、機体、エルロンなどの動翼、フラップ、ギアなどが作動する。

インストラクターの解説により、大型ジェット旅客機の操縦を体験しつつ、航空機のしくみ、運航などを容易に理解できる装置である。

実機同様コックピットは大型のカラーディスプレイを採用し、2名のパイロットが操縦する。



## (3)DC-8 シミュレーター



このシミュレーターは、正副操縦席を含め 14 名が搭乗し、成田空港の離着陸を含む 15 分ほどのフライト(羽田から成田空港への飛行、成田周遊飛行の 2 コース)を体験でき、インストラクターの解説により搭乗・操縦気分を味わえる当館でも人気の装置である。日本航空でパイロット訓練用シミュレーターに使用していたコックピットを基に改修、製作した。

## 3. 行事関係

航空、空港により親しんでいただくなどの観点から、企画展示、教室・セミナー、イベントなど種々の行事を開催しているが、その各々の企画にあたっては、「応募する」、「搭乗する、操作する」など、参加・体験をいっそう高めるよう工夫しているところである。

18 年度においては「環境と操縦」を統一テーマとして計画しており、「エンジン運転体験」や航空の科学について解説する「オープンハウス」、「折り紙飛行機教室」など参加・体験型の企画を実施している。

## (1) エンジン運転体験



この行事は、家族で楽しめるものであり、原則として毎月 2 回程度実施しており、セスナ、ムーニー等の飛行機に搭乗し、エンジンを作動させ、その音、振動、匂いを体験できる。

ムーニーは、アメリカのムーニー社が生産した高性能に優れた 4 人乗りの小型飛行機である。同機は、個人がレジャー、訓練飛行などに使用した高級機であり、寄贈にあたり成田空港へ最終フライトした。

## (2)企画展示

毎月のごとくメニューを変更のうえ実施しており、メインの展示として 2007 年 1~3 月に「エアバス A380 展」を計画している。

## (3)教室・セミナー関係

航空知識を深めるため、パイロット・客室乗務員などの講演、航空無線通信士セミナー、オープンハウス等、また、博物館に宿泊して空港見学・模型の製作など小中学生に人気の高い体験学習「エアロキャンプ」なども実施している。

## (4)空の日等各種イベント関係

地域社会との交流を深めるため、空の日関連行事として「地元物産店」、3 月と 9 月には普段なかなか手に入らない飛行機などの部品・機内食用食器等機内用品・エアライングッズなどを展示販売する好評の「航空ジャンク市」等の行事を実施している。

新年の幕明けとして、元日朝 5 時に開館し、成田空港の「1 番機」と「初日の出」を 5 階展望室などからお楽しみいただく、「航空科学博物館から一番機と初日の出を見よう」というイベントで皆様をお待ちしております。

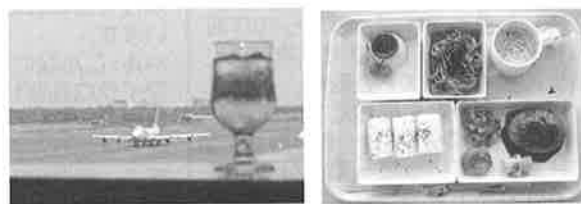


## 4. 成田空港の展望

博物館は、成田空港南側に隣接しており、A 滑走路に離着陸するジャンボを目の当たりに、エンジン音を体験できる。

展望展示室では、まるで管制塔にいるような気分を味わうことができ、飛行機の成田空港における離着陸状況を、ガイドの解説を参考にご覧いただけるようになっている。

展望レストランで休息のひとつとき、お茶などをお楽しみください。また、団体向けに機内食風ランチ(予約)なども用意しております。



## ■ 利用案内

- ・休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)および年末
- ・開館時間 10:00~17:00(入館は 16:30 まで)
- ・入 館 料 大人 500 円、中高生 300 円、  
4 才以上小学生 200 円  
(団体は 20 名以上 2 割引)
- ・交 通 成田空港第 2 ビルから南部工業団地行き路線バス  
東関東自動車道路成田 IC 又は  
千葉東金道路松尾横芝 IC から  
成田空港南側隣接地  
駐車場 300 台(無料)
- ・所 在 地 〒289-1608 千葉県山武郡芝山町岩山 111-3
- ・電 話 0479(78)0557

(文責 航空科学振興財団)